



# 学校歴史教育は困難な歴史を展示している 博物館をどのように活用できるか

—広島平和記念資料館を事例に—

2024年 8月 3日(土) 14:00-15:30

オンライン会議 Zoomを使用します

趣旨説明	金鍾成(広島大学)
困難な歴史を展示している博物館の教育的活用のための原理	金鍾成(広島大学)
困難な歴史を展示している博物館の教育的活用のための提案	山本亮介・野呂航平(広島大学大学院生)
指定討論	星瑞希(北海道教育大学札幌校)
フロアーとの質疑・応答	
まとめ	

歴史的出来事を批判的に読み取ることを重視する学校歴史教育において、メッセージ性の強い「困難な歴史(Difficult Histories)」を展示する博物館はどのように扱われうるのだろうか。

本セミナーでは、ヒロシマへの原爆投下に関する展示を通して「No More Hiroshima」のメッセージを発信している広島平和記念資料館を事例に、博物館の教育的活用について考えます。

【主催】 科学研究費(若手研究)「「難しい歴史」の教育的活用に挑戦する  
トランスナショナル歴史対話のデザインリサーチ」(研究代表者:金鍾成)

【共催】 広島大学教育ビジョン研究センター(EVRI)



教育ビジョン研究センター(EVRI)

<https://evri.hiroshima-u.ac.jp/29738>

左のQRコード等からお申し込みいただけます

お申し込み後にオンライン会議に必要な情報をご連絡いたします